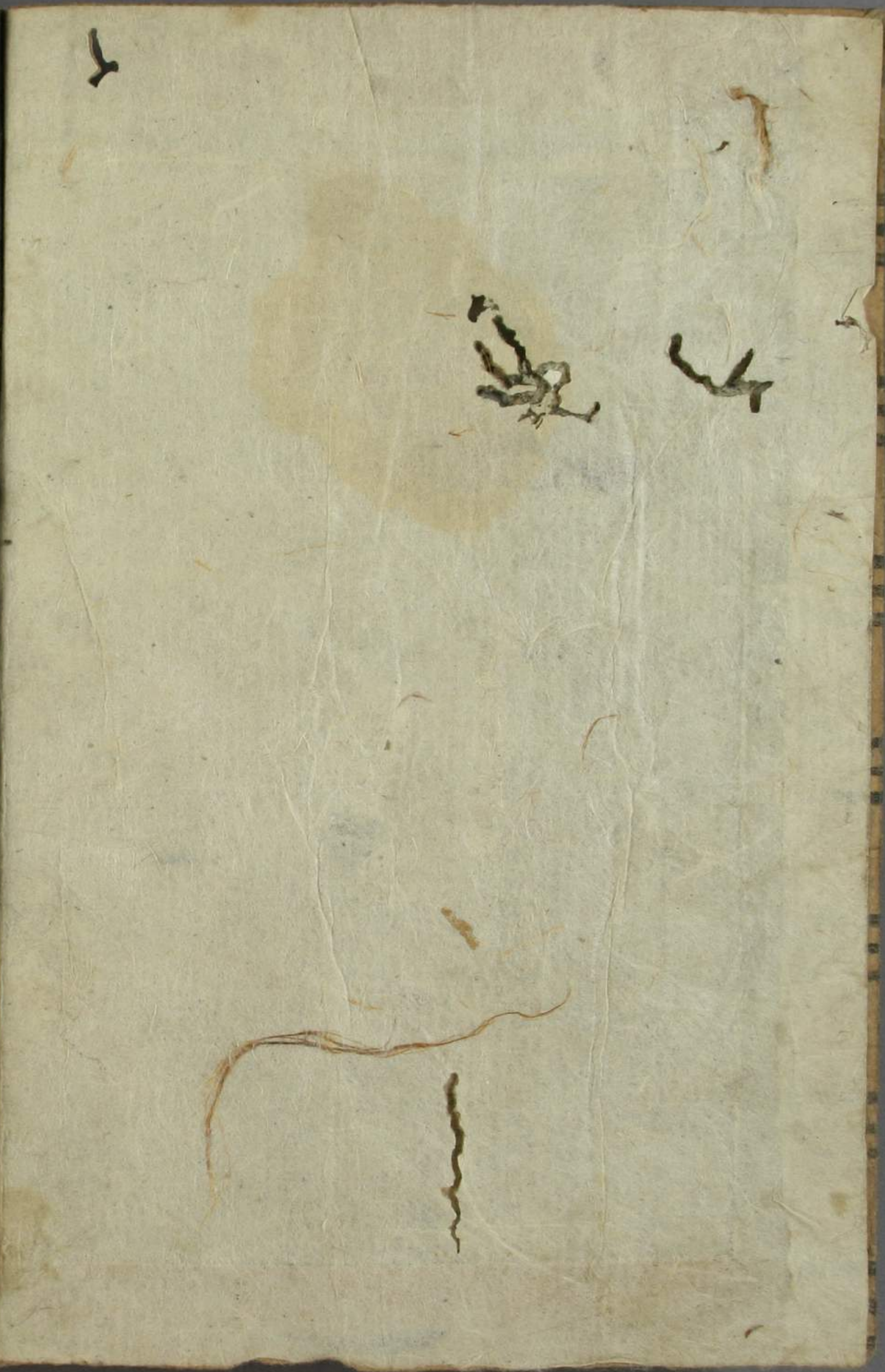


Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
A			M			B		
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19								





團十郎作



遠 3
2378
3531

團十郎著述
北尾重政画

文政丁亥
子孟春焚市

東國太郎
西國太郎
兩雄奇人
前編

馬喰街第二 錦森堂

壹

淨をいぬ風は神のいともいふ風雅でもあつ酒落でもあつ幸うと云は山師の
正國の丹波のてお本親のいふことなむい裡小松の後つ長地能地秋
の日は夜多は事の元のまぢり足らぬ業意の積るまは當年も著るは合異繪冊
子淨猫狸歌舞好まきまて成まて世に終じまはたて来に座下てわつ魚の三國とほり
一夜ごま紙路の雪片肌をた遠寺の鐘も身の中みく化く上るも入運ふに
舌の雨のうた人をまつ小細のまをのう深て入目龍田川紅雲流し由あるれ
客と密交との時月物のりこふらまみ定めやれた善者の山小松のり山又山松
山あつりのも習ふは序文のま真又出つらわとんく柏子七草葉と打を
ま日本れ鳥の明の春東國を舟が英勇割むはく西の國親父中
本アがわりの玉佐繪志古夏茂亦事ふ小洗燈那 淨子梅方
忠覧小室

文政十年亥孟春發

三升戲述

野人



去来免空の猫と色筆、女死



二代目 鋸山東太郎

野人

奇人



二





柏杵かしきの
お六

熊本の
久松ひさまつ

八專やっせんのおんや
何うする

菊きくの香か

沼圃



唐津からつの久作ひささくが娘むすめ

お漆しつ



菊きくを
客きやくを
園えんを
空そらを
圓まるを
空そらを
圓まるを
空そらを
圓まるを

馬うま 莧あざみ

あぢりたり

りんごのたをひらいてあの
 ひめとまらへたしちちら
 ちひんにおこえたが
 しんもちをのち
 さまたたきだておのど
 あかまのまてんく
 うりゆうのゆそら
 うらひまきまきん
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの



来るてん
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの

ようやくしんせいせいの
 仕りあいのせいのせい
 なつのはれんがく
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの
 のひらくまの



木王
 木玉





Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, surrounding the illustration on the right page.



Small vertical text or characters located at the top right of the page.

Small vertical text or characters located at the bottom right of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, surrounding the illustration on the left page.



Small vertical text or characters located at the top left of the page.

Small vertical text or characters located at the bottom left of the page.

三升作 重政畫

三升作重政畫
 此畫乃三升作重政所畫
 畫中人物皆係當時名流
 其筆法細膩神韻十足
 誠為日本繪畫之傑作也
 畫中人物之神情動作
 無不栩栩如生令人稱羨
 此畫之價值實非筆墨
 所能形容也



此畫之價值實非筆墨所能形容也
 誠為日本繪畫之傑作也

德升校合

德升校合
 此圖乃德升校合所畫
 畫中人物皆係當時名流
 其筆法細膩神韻十足
 誠為日本繪畫之傑作也
 畫中人物之神情動作
 無不栩栩如生令人稱羨
 此畫之價值實非筆墨
 所能形容也



此畫之價值實非筆墨所能形容也
 誠為日本繪畫之傑作也



志をたると 志をたると
 あ雄志の人 志をたると
 因十郎作 新撰
 重政画
 亥新巻 本林治斎接







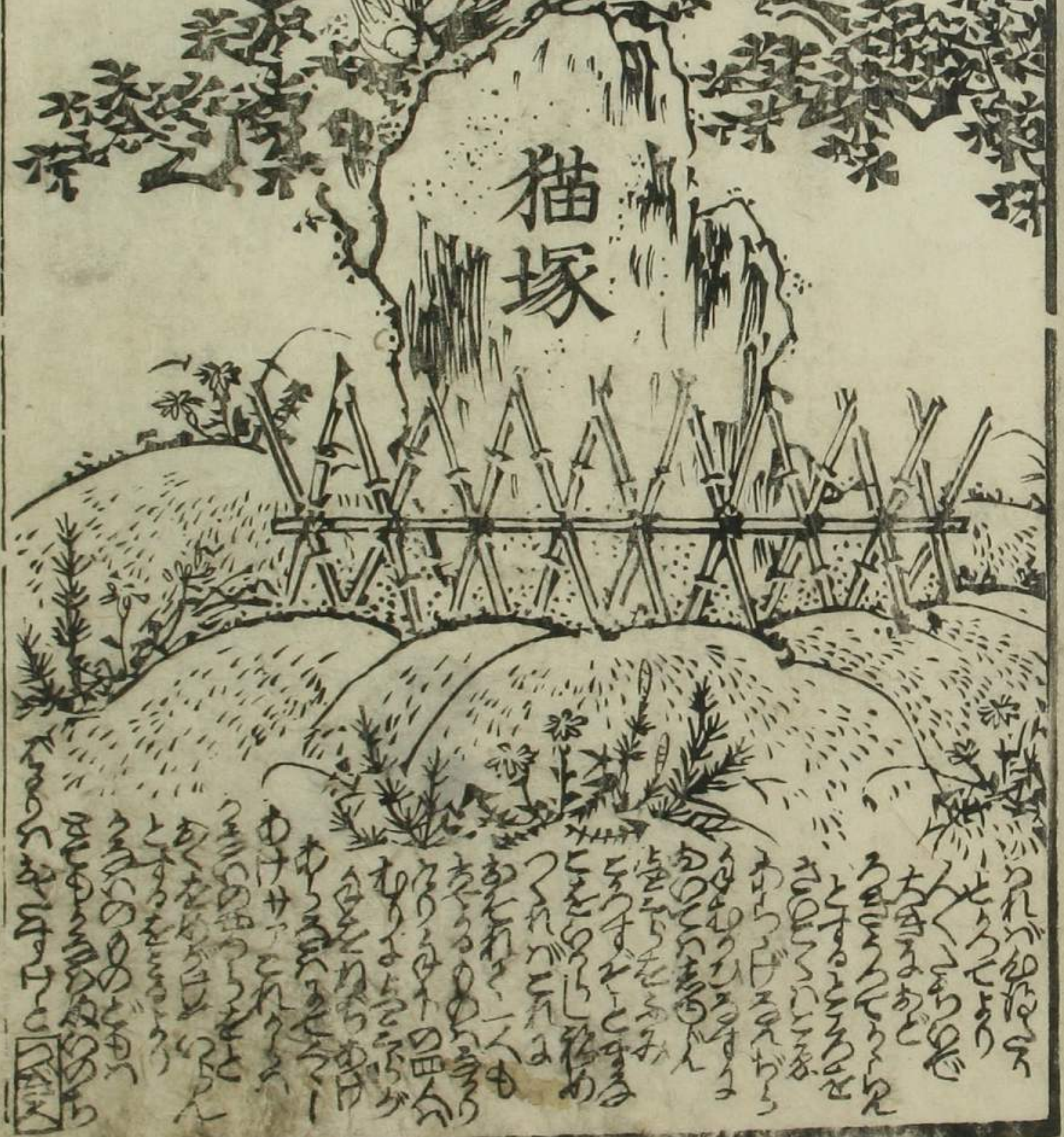


此の世をゆくは...
 人の心は...
 世の人は...
 人の心は...
 世の人は...



此の世をゆくは...
 人の心は...
 世の人は...

此の世をゆくは...
 人の心は...
 世の人は...



此の世をゆくは...
 人の心は...
 世の人は...

竹の葉の影が
 水に揺れる
 風の音は
 遠くから
 聞こえる
 静かな夜
 月が空に
 照らす
 星の光も
 見える
 心は静かに
 眠る



静かな夜
 月が空に
 照らす
 星の光も
 見える
 心は静かに
 眠る
 竹の葉の影が
 水に揺れる
 風の音は
 遠くから
 聞こえる



静かな夜
 月が空に
 照らす
 星の光も
 見える
 心は静かに
 眠る

竹の葉の影が
 水に揺れる

静かな夜



文政十年丁亥孟春幾允

北尾重政画 市川三升作

北尾重政画 市川三升作
 此の巻は、北尾重政の画と市川三升の作である。北尾重政は、江戸時代中期の浮世絵師で、北尾重政画といわれる。市川三升は、江戸時代中期の浮世絵師で、市川三升作といわれる。この巻には、北尾重政の画と市川三升の作が描かれている。北尾重政の画は、市川三升の作と比べると、より写実的で、人物の表情や動作が生き生きと描かれている。市川三升の作は、より装飾的で、人物の服装や背景が華やかで、浮世絵の趣を十分に表現している。この巻は、北尾重政と市川三升の二人の画藝を比較対照することができる貴重な資料である。

今戸土産女西行 全六冊
曲亭馬琴作

伊勢伊勢 契情身持扇 全六冊
山東京山作

於駒三詠織八文縮緬 全六冊
山東京山作

東國太郎 兩雄奇人 上中下
市川三升作

西國太郎 兩雄奇人 後編 全冊
北尾重政画

鉛屋三篇 寬能大御法画解 全六冊
關亭傳樂作

方言の草鞋十七編 全六冊
哥川國兼画

先那目録 十返舎一九作
初編洋見物 二編 三編 四編 五編 六編 七編 八編 九編 十編

十編坂 東土編ち ぬ土編 ぬの山
土編 ぬの山 古編 ぬの山 五編 ぬの山 六編 ぬの山 七編 ぬの山 八編 ぬの山 九編 ぬの山 十編 ぬの山

美艷仙女香 全六冊
江戸馬喰町三升側

地蔵屋 本林屋治共衛板元



後篇

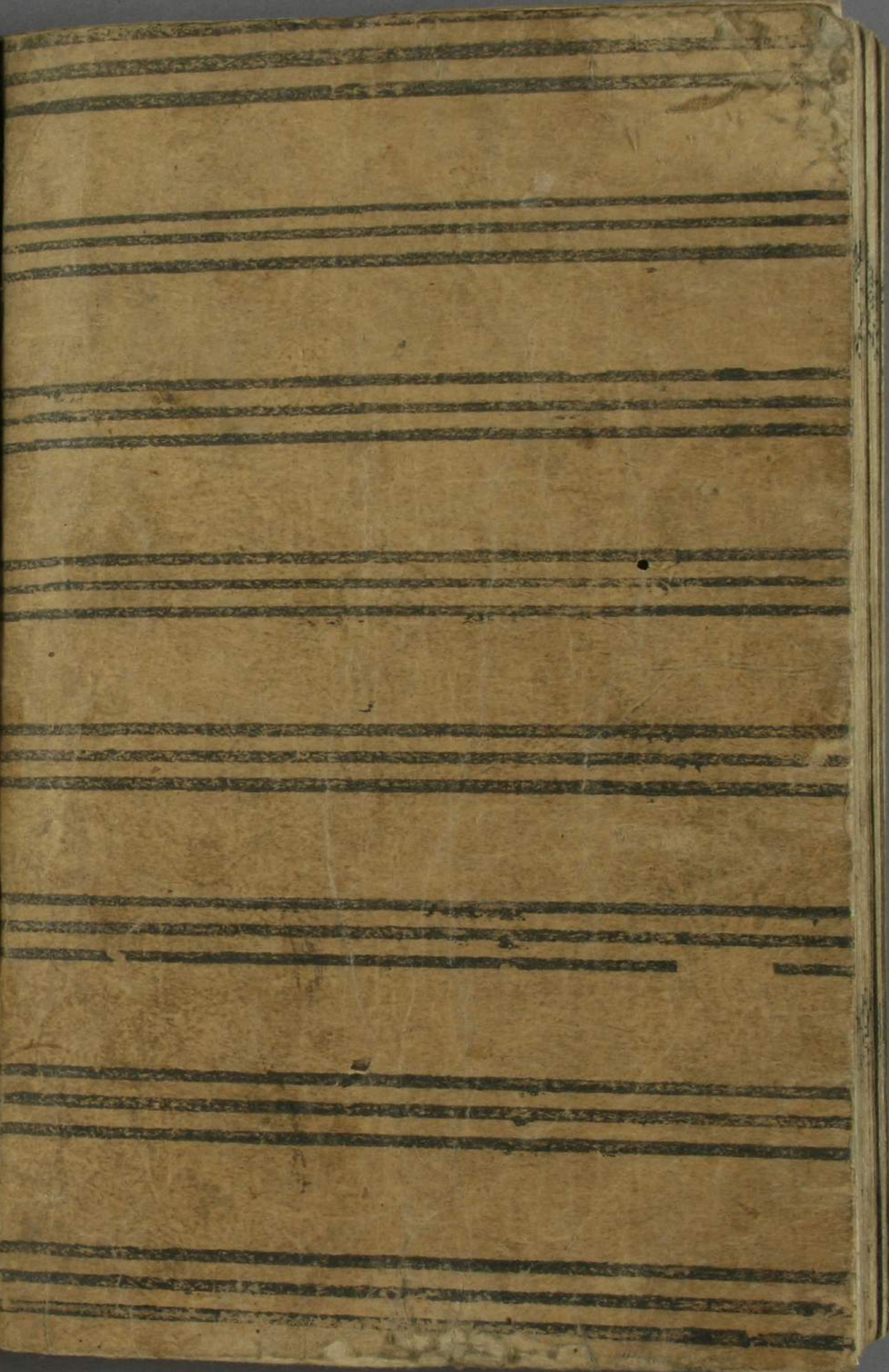
團重

遠

2378

353

上



遠
2378
3532止

三升作

文政十稔春
新彫繪双紙

東國太郎

西國太郎

西雄奇人
後編
上冊

重政画

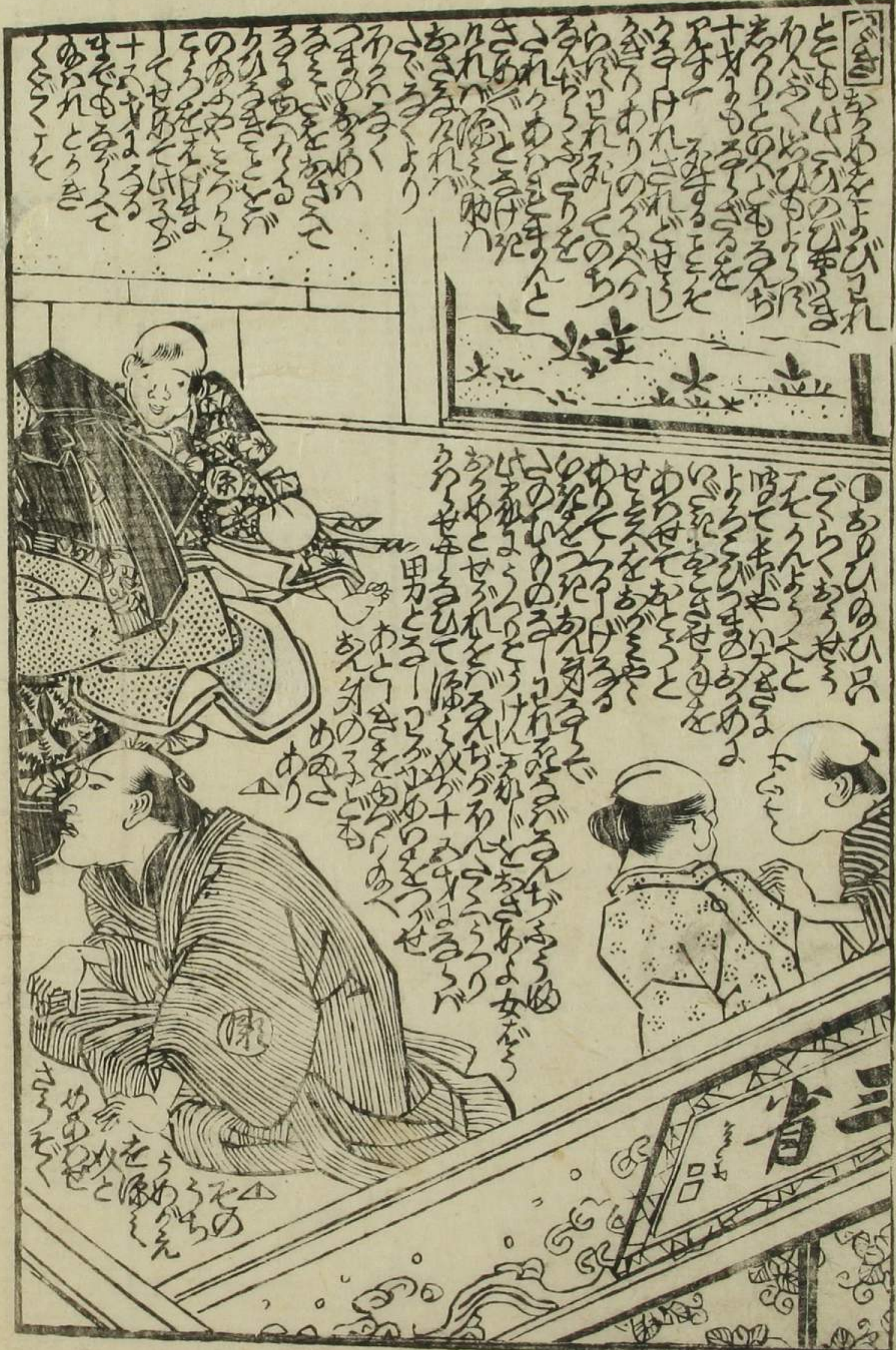
木林治販

(七)



奇人

廿一





廿五



廿四



第九

十六

①



第九

十五

それをうそ
 とおもう
 かくし
 いろいろ
 いろいろ
 うらやま
 こころを
 こころを
 こころを
 こころを
 こころを



せんせいの
 こころを
 こころを
 こころを
 こころを
 こころを



九

九

ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく



ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく

ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく



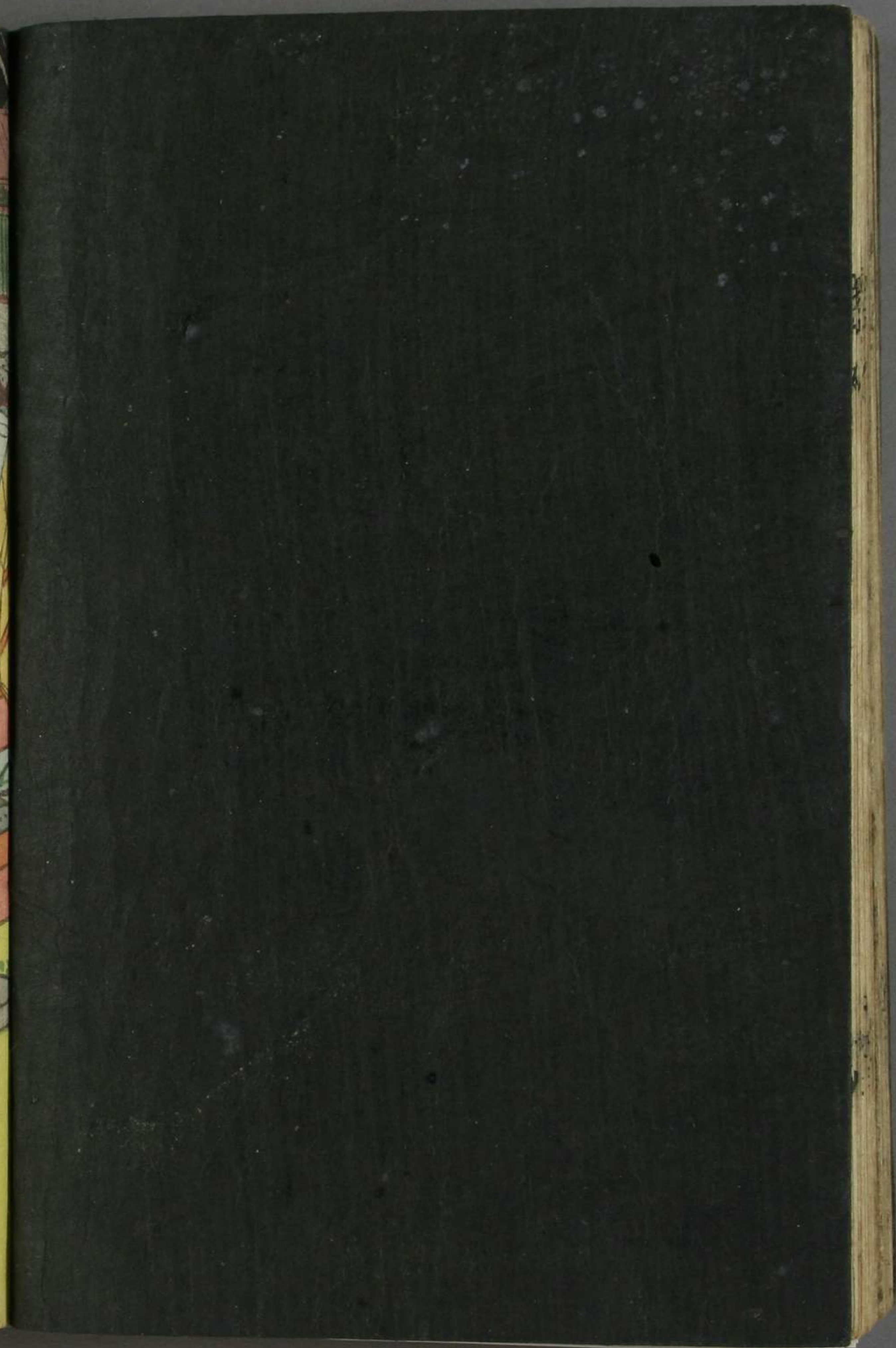
ちの世のついでに
 せいのなまはるく
 ちの世のついでに
 せいのなまはるく

ちの世のついでに

せいのなまはるく



馬喰町三丁目
木森治板



亥春

東國

奇人

三升作

重政画

馬喰町

二丁目

錦森堂

壽櫻

後編下冊



Handwritten text columns on the left side of the illustration, including a circled character '丸' at the top.

Handwritten text columns on the right side of the illustration, continuing the narrative or commentary.



松の節は
 竹の葉は
 草の根は
 土の味は
 水の清は
 空の青は
 風の音は
 雲の白は
 月のは
 星の光は

松の節は
 竹の葉は
 草の根は
 土の味は
 水の清は
 空の青は
 風の音は
 雲の白は
 月のは
 星の光は



松の節は
 竹の葉は
 草の根は
 土の味は
 水の清は
 空の青は
 風の音は
 雲の白は
 月のは
 星の光は

松の節は
 竹の葉は
 草の根は
 土の味は
 水の清は
 空の青は
 風の音は
 雲の白は
 月のは
 星の光は





百人

四十五



高橋

四十六

大五郎のふいふとあつたに
 かくてこれれがとてとつて
 をさうりてはあの中とびり
 こちのひつゆの中とびり
 らひひつひと大五郎のふいふ
 なるあつた人の危うとあつた

大五郎のふいふとあつたに
 かくてこれれがとてとつて
 をさうりてはあの中とびり
 こちのひつゆの中とびり
 らひひつひと大五郎のふいふ
 なるあつた人の危うとあつた



大五郎のふいふとあつたに
 かくてこれれがとてとつて
 をさうりてはあの中とびり
 こちのひつゆの中とびり
 らひひつひと大五郎のふいふ
 なるあつた人の危うとあつた

大五郎のふいふとあつたに
 かくてこれれがとてとつて
 をさうりてはあの中とびり
 こちのひつゆの中とびり
 らひひつひと大五郎のふいふ
 なるあつた人の危うとあつた





ナリ

ナリ



ナリ

ナリ

文政十年丁亥孟春費况

今戸土産女西行 全六冊
 曲亭馬琴作
 五渡亭國貞画

浮世伊助 契情身持扇 全一冊
 山東京山作
 五渡亭國貞画

於駒 三詠織入文縮緬 全六冊
 山東京山作
 歌川豊國画

東國太郎 兩雄奇人 上中下
 市川三升作
 北尾重政画

西國太郎 兩雄奇人 後編 全四冊
 市川三升作
 北尾重政画

市川三升作

五柳亭徳升校合



北尾重政画

筆研 川金谷

館屋三篇 寛能上人御法画 鮮冊
 関亭傳笑作
 歌川國貞画

方音の草鞋七編 全六冊
 先彫目録
 十返舎一九作

初編活見物 二編赤池 三編徳富 四編四重 五編李名 六編兼海 七編兼松 八編兼 九編西玉 十編坂東 十一編兼 十二編兼 十三編兼 十四編兼 十五編兼 十六編兼 十七編兼 十八編兼 十九編兼 二十編兼

美艷仙女香 活馬喰町三南側
 本林屋治兵衛控

